

Title	語文 第100-101輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 100-101
Issue Date	2013-12-10
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70929
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

一九五〇（昭和二十五）年に第一輯を刊行して以来、『語文』は今号で百輯を迎えることとなります。島津忠夫先生・後藤昭雄先生お二人の名譽教授をはじめ、論考をお寄せ下さった方々、また『語文』に関する思い出を綴って下さった会員諸氏にお礼申し上げます。

『語文』が年二回の刊行に固定したのは四十一輯（一九八三年五月）以降、大阪大学国語国文学会による編集刊行となったのは四十九輯（一九八七年九月）からで、それが現在へと引き継がれています。『語文』創刊の頃や『語文』という名称については、田中裕先生のお書きになったものがあり、その事情を知ることができますが（『語文』五十輯（一九八八年三月）「語文五十輯を迎へるのに寄せて―創刊のころ―」、七十四輯（二〇〇〇年五月）「国文学科の思い出」、年二回刊行の態勢が整えられてから以後の三十年については、当時のことを知る教員も少なくなりました。

そこで、来年一月に行われる国語国文学会の総会では、『語文』百輯を記念して『語文』をめぐる回顧と展望―この三十年をふりかえる―というシンポジウムを企画しました。会員の皆様にもぜひお越しいただき、『語文』の今後について考える機会にしたいと思います。（加藤洋介）

語文 第百・百一輯

平成二十五（二〇一三年）十二月 五日 印刷
平成二十五（二〇一三年）十二月 十日 発行

編集・
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五
大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一―一

印刷 亜細亜印刷株式会社